精神神経医学

遠 藤 正 臣 教 授 中 村 助教授 _ 郎 清 昭 規 講 師 水 細 邦 Ш 講 師 数 Ш 悟 助 手 助 手 藤 井 勉 烏帽子田 助 手 彰 # 助 手 大 健 助 手 森 Ш 恵

● 著書

- 1) 遠藤正臣: Alzheimer 型痴呆の神経心理学。 「精神科 Mook, No. 8 老年期痴呆」長谷川和夫 編, 133-142, 金原出版, 1984。
- 2) 遠藤正臣:神経心理学。「Essential Lecture 精神医学」宮本忠雄編,139—151,メジカルビュー,1984。

● 原 著

- 1) 佐野 譲,炭谷信行,古田寿一,金 英道, 山口成良,数川 悟:変性疾患と徐波睡眠。臨床精 神医学 13(2):141-151, 1984。
- 2) Shimizu A., Endo M., Yamaguchi N., Torii H., Isaki K.: Handpreference of Schizophrenics in the Hokuriku district in Japan; Folia Psychiatr. Neurol. Jpn. 38(2): 178-179, 1984.
- 3) 大井 健,多賀千明,辻 元宏:メトアンフェタミン慢性投与マウスの再燃現象に関する行動学的検討.神経精神薬理 **16**(10):729-735,1984.

● 学会報告

- 1) 清水昭規,遠藤正臣,山口成良,鳥居方策,伊崎公徳:精神分裂病の利き手――正常人との比較――。第97回北陸精神神経学会,1984,1,金沢。
- 2) 堀 有行,数川 悟,中村一郎,遠藤正臣: Neuroacanthocytosis (Levine-Critchley 症候群)の 睡眠脳波. 第9回日本睡眠学会定期学術集会,1984, 5,金沢.
- 3) 中村一郎,数川 悟,遠藤正臣,三輪淳史, 北川正信,稲生暁春: Creutzfeldt-Jakob 病の1剖 検例. 第98回北陸精神神経学会,1984,6,金沢.
- 4) 数川 悟,堀 有行,藤井 勉,遠藤正臣,稲生暁春,渋谷知一:一精神薄弱施設における染色体異常の検索――1.染色体検査の意義。第99回北陸精神神経学会,1984,9,金沢.
- 5) 大井 健, 辻 元宏, 多賀千明, 高橋三郎: メタアンフェタミン慢性投与マウスの再燃現象に関

する行動学的検討. 第19回日本アルコール医学会, 1984, 9, 浜松.

- 6) 堀 有行,数川 悟,烏帽子田 彰,遠藤正臣:健康双生児の polysomnogram(PSG)。第14回日本脳波・筋電図学会学術大会,1984,11,北九州。
- 7) 辻 元宏,大井 健,多賀千明,明神徹郎, 高橋三郎:高速液体クロマトグラフィーによる人尿 および動物組織中β-フェニルエチルアミンの定量。 第27回日本神経化学会,1984,11,東京.
- 8) 中村一郎,数川 悟,遠藤正臣,三輪淳史, 北川正信,稲生暁春: Creutzfeldt-Jakob 病(Panencephalopathy型)の1剖検例。第12回臨床神経病理 懇話会,1984,12,岡山。

◆ 翻 訳

1) 高橋三郎,高橋清久 共訳 安屋敷和秀,石田展弥,井野恵三,大井 健,加納邦夫,佐藤洋子,下田和孝,多賀千明,辻 元宏,中村道彦,花田耕一,松岡俊樹,山田尚登:A. Richard Green and David W. Costain, Pharmacology and Biochemistry of Psychiatric Disorders. 精神疾患の薬理生化学,西村書店,1984.

放 射 線 医 学

教 柿 下 正 雄 授 瀬 戸 光 助教授 羽 朗 講 師 田 陸 崎 夫 石 良 講 手 谷 立 助 介 助 手 亀 井 哲 也 古 本 尚 文 助 手 \Box 原 彦 助 手 敏 麻 邦 助 手 生 正 手 瀧 邦 助 康

● 原 著

- 1) 亀井哲也, 二谷立介, 瀬戸 光, 柿下正雄, 中村泰久: 眼窩 thin section CT の基礎的検討. 日本医放会誌 44:358-363, 1984.
- 2) 瀬戸 光,二谷立介,亀井哲也,麻生正邦, 柿下正雄,舘崎慎一郎:結核性骨・関節疾患の骨シ ンチグラフィ.臨床放射線 29:381—385,1984.
- 3) Hada M., Hihara T. and kakishita M.: Computed tomography in Gastric Carcinoma: thickness of gastric wall and infiltration to serosa surface. Radiat. Med. 2:27-30, 1984.
 - 4) Seto H., Futatsuya R., Ihara F., Kamei